

| | | | |
|--|----------------------|------------|--------------------------------------|
| 科目名 | 卒業研究 | 英語科目名 | Graduation Research & Diploma Design |
| 開講年度・学期 | 平成21年度・通年 | 対象学科・専攻・学年 | 建築学科5年 |
| 授業形態 | 演習 | 必修 or 選択 | 必合格科目 |
| 単位数 | 13単位 | 単位種類 | 履修単位(30時間単位) |
| 担当教員 | 建築学科全教員 | 居室(所属) | 建築学科棟 |
| 電話 | | E-mail | |
| 授業の達成目標 | | | |
| <p>高専教育の集大成というべき科目で、学生は各研究室に配属され、教員の指導の下に、個人あるいはグループで特定の課題について研究を行う。研究室によっては卒業設計にて研究に代える場合や、卒業研究と卒業設計の両方を行う場合もある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各自が企画し、調査・研究を進め、 2. 問題点の把握、解決方法が理解でき、とりまとめを行い、 3. 最終発表までを各自の責任で達成できること。 | | | |
| 各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法 | | | |
| 1～3. 卒業研究中間発表会、最終発表会において60%以上の成績で評価する。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 各研究室のゼミ、中間発表、最終発表、卒業研究の内容(本論、梗概)により評価を行う。 2. 中間発表、最終発表は全教員が審査する。 | | | |
| 授業内容 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究室において学生の適性と希望に応じ、テーマに応じて個別の指導がなされる。 2. 基本的には学生自身が計画を立てて、研究を進めることになる。 3. テーマにより、実験、解析、調査、フィールドワーク、設計など多様な内容になる。 4. 中間発表、最終梗概、論文本論の提出、研究発表が義務づけられている。 | | | |
| キーワード | 建築、研究、論文、発表 | | |
| 教科書 | ---- | | |
| 参考書 | 建築学科すべての授業科目の教科書、参考書 | | |
| 小山高専の教育方針①～⑥との対応 | ② | | |
| 技術者教育プログラムの学習・教育目標 | | | |
| (B-1) 実験や観察、調査、製作を行って結果や結論を導ける。 | | | |
| (D-2) 実験や調査結果を口頭発表して議論できる。 | | | |
| JABEE 基準1の(1)との関係 | d(2-c)、(f)、(h) | | |
| カリキュラム中の位置づけ | | | |
| 前年度までの関連科目 | 全科目 | | |
| 現学年の関連科目 | 全科目 | | |
| 次年度以降の関連科目 | ---- | | |
| 連絡事項 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 4年次に研究室紹介があり、研究室の教員が適宜個別に相談に応じる。 2. 毎年学年末に行われる先輩の研究発表は必ず聴講すること。 3. 5年間で学んだことを基に、各学生の実力を十分に発揮して欲しい。 4. テーマは本人の希望と能力により異なるので、指導教員とよく相談し、指導に従うことが重要となる。 | | | |
| シラバス作成年月日 | 平成21年3月31日 | | |